

西尾市事務事業評価シート

事務事業No.	76	事務事業名 (中事業名)		いじめ・不登校等対策事業 ()					
予算科目	10	01	03	大事業	02	中事業	00	担当課名	学校教育課
総合計画施策コード	322		事務開始年度		平成7年度		備考		
根拠法令等	西尾市いじめ・不登校・問題行動等対策協議会設置要綱						作成月	令和元年7月	

事業の概要

●事業の内容【PLAN】

事業の目的 (どうするために)	西尾市内の不登校児童・生徒を対象に生活への適応と自立を促すための助言や指導を行い、学校復帰を支援する。
事業の対象 (誰(何)のために)	市内小中学校の不登校児童生徒
事業の概要 (具体的に何を)	児童生徒が学校復帰を目指すための定期的な相談活動、学力充実のための学習支援活動、他の子と交流し社会性を伸ばす行事・スポーツ・体験活動を行う。

●事業費の内訳【DO】

項目	平成29年度(決算)	平成30年度(決算)	令和元年度(予算)	
事業費①	27,206,915円	27,502,100円	28,221,000円	
事業にかかる人工	0.10人	0.10人	0.10人	
事業にかかる人件費②	710,461円	716,741円	723,422円	
総事業費③(①+②)	27,917,376円	28,218,841円	28,944,422円	
総事業費の内訳③の	使用料・手数料	0円	0円	0円
	国からの支出金	0円	0円	0円
	県からの支出金	0円	0円	0円
	市費	27,917,376円	28,218,841円	28,944,422円
	その他	0円	0円	0円
H30 総事業費③の対前年度差額	301,465円	H30 総事業費③の対前年度比率	1.08%	
事業費の増減理由 (対前年度比10%超の場合記入)				
事業費の中の 主な支出項目 (H30決算額)	項目	概要		金額
	あゆみ学級運営費	支援センター指導相談員報酬、消耗品、通信運搬費		1,019,000円
	生徒指導アドバイザー	賃金、謝礼		21,100,900円
	委託料	いじめ不登校問題行動対策事業、進路指導業務委託料		5,382,200円

●指標の設定【DO】

(事業の実施にあたり、どれだけの成果(成果指標)を得るために、どれだけの活動(活動指標)をするか。)

成果指標	○事業で得たい成果を示すもので、受益者(市民)の観点から捉えた具体的な効果や効用(アウトカム)事業の目的と						
	具体的な指標	不登校児童生徒数					
	指標の推移	平成29年度	単位	平成30年度	単位	令和元年度	単位
	目標値	300	人	350	人	350	人
	実績値	275	人	334	人	*****	
活動指標	○事業全体の結果を示すもので、具体的な活動量や活動実績(アウトプット)						
	具体的な指標	いじめ及び不登校に関する相談件数					
	指標の推移	平成29年度	単位	平成30年度	単位	令和元年度	単位
	目標値	200	件	400	件	400	件
	実績値④	170	件	428	件	*****	
活動一単位当たりのコスト(③÷④)		平成29年度	平成30年度	令和元年度			
		164,220円	65,932円	*****			

事業の委託状況	委託していない	委託の内容	-
事業の終了時期	未定	事業の終了時期が未定の場合、事業の抜本的な見直し時期	未定
事業の終了時期が未定の場合の理由	不登校傾向にある子どもは、近年増えていることから、こうした対応は教育委員会として必要不可欠であるため終了時期は未定である。		

評 価

●個別評価【CHECK】 ◎:適正 ○:概ね適正 △:適正ではない -:いずれにも該当しない

評価項目	評価項目		評価	評価項目		評価
	妥当性	有効性		効率性	公平性	
妥当性	市が関与することが適切か(委託・民営化は不可能)		○	効率性	単位コストは、前年を下回っているか	○
	国・県・市・民間との役割は適切か		○		事業実績や目的に対して費用がかかりすぎているか	○
	変化する社会情勢の中で、事業の意義は失われていないか		○		委託等、手段を変更してもコスト削減は期待できないか	○
	事業に対する市民ニーズを把握しているか		○		事務の手段を工夫しても業務時間は短縮できないか	○
有効性	事業の目的は達成できているか		○	公平性	受益者に偏りはないか	○
	事務を継続することで、成果の向上が期待できるか		○		受益者負担を求めている、また、求めている状況は適切か	○
	事務成果が上位施策の目標達成に貢献しているか		○		受益者負担の割合は適切か	○
	他市町村と比べて上位に位置しているか		○		サービスの提供方法に公平性を欠いていないか	○
評価の総合的なコメント	いじめ問題や不登校は、常に発生するものであるため、子どもを守る手段として必要不可欠である。					
事業の方向性	(評価)	1 今後も、ほぼ現行どおり(事業の内容・規模・手法)進める				
	(理由)	個人状況の把握等が必要な内容で常日頃から学校生活に密接しているため、民間委託はできない事業内容である。				
民間委託又は市民協働拡大の方向性	民間委託はできない事業内容であるため民間委託又は市民協働拡大は考えていない。					
事業全体の課題	いじめ、不登校の原因解明の一つとして「教育の原点は家庭にあり」という考えに立ち返って、家庭と学校とで連携をしながら、それぞれがすべき事を明確にし、学校復帰へのきっかけを探っていくことが必要である					

●近隣の状況【CHECK】

同類事業の近隣市の実施状況	近隣市でも近年同じ問題を抱えている。各市適応教室を開設し対応している。
---------------	-------------------------------------

●参考意見等【CHECK】

市民サービス向上に向けた意見等	通室児童生徒数の増加により、一人ひとりの子供たちに対応する支援員数や部屋数が不足している。
-----------------	---

●改善案【ACTION】

今後の改善策	支援員の増員。適応教室増設、あるいは使用部屋数を増やす。
--------	------------------------------

●企画政策課の評価

企画政策課の意見	いじめ・不登校の問題について総合的・根本的に検討し、その予防や対応を具体的に進めてください。
----------	--

西尾市事務事業評価シート

事務事業No.	77	事務事業名 (中事業名)		中学生海外派遣等事業 ()					
予算科目	10	01	03	大事業	07	中事業	00	担当課名	学校教育課
総合計画施策コード	321		事務開始年度		昭和61年度		備考		
根拠法令等	-						作成月	令和元年7月	

事業の概要

●事業の内容【PLAN】

事業の目的 (どうするために)	市内中学生の国際理解を深め、国際的な視野を広げることをねらいとする。
事業の対象 (誰(何)のために)	参加する生徒だけでなく、事前研修会や報告会を設けることで、国際理解教育推進、国際感覚をもった全生徒の人材育成をねらいとする。
事業の概要 (具体的に何を)	旧西尾市においては、昭和61年度より実施され、合併後も本年度まで継続して実施している。現在の派遣先は、シンガポール・マレーシアであり、中学2年生20名と引率教諭4名を派遣団としている。派遣先では、ホームステイや現地の学校訪問、大学生との市内見学等を行っている。

●事業費の内訳【DO】

項目	平成29年度(決算)	平成30年度(決算)	令和元年度(予算)	
事業費①	6,500,000円	6,500,000円	6,500,000円	
事業にかかる人工	0.05人	0.05人	0.05人	
事業にかかる人件費②	355,231円	358,370円	361,711円	
総事業費③(①+②)	6,855,231円	6,858,370円	6,861,711円	
総事業費の内訳③の	使用料・手数料	0円	0円	0円
	国からの支出金	0円	0円	0円
	県からの支出金	0円	0円	0円
	市費	5,855,231円	5,858,370円	5,861,711円
その他	負担金	1,000,000円	1,000,000円	1,000,000円
H30 総事業費③の対前年度差額	3,139円	H30 総事業費③の対前年度比率	0.05%	
事業費の増減理由 (対前年度比10%超の場合記入)				
事業費の中の 主な支出項目 (H30決算額)	項目	概要		金額
	委託料			6,500,000円

●指標の設定【DO】

(事業の実施にあたり、どれだけの成果(成果指標)を得るために、どれだけの活動(活動指標)をするか。)

成果指標	○事業で得たい成果を示すもので、受益者(市民)の観点から捉えた具体的な効果や効用(アウトカム)事業の目的と						
	具体的な指標	参加人数					
	指標の推移	平成29年度	単位	平成30年度	単位	令和元年度	単位
	目標値	20	人	20	人	20	人
	実績値	20	人	20	人	*****	
活動指標	○事業全体の結果を示すもので、具体的な活動量や活動実績(アウトプット)						
	具体的な指標	応募人数					
	指標の推移	平成29年度	単位	平成30年度	単位	令和元年度	単位
	目標値	100	人	100	人	100	人
	実績値④	113	人	105	人	*****	
活動一単位当たりのコスト(③÷④)		平成29年度	平成30年度		令和元年度		
		60,666円	65,318円		*****		

事業の委託状況	一部委託している	委託の内容	海外派遣事業引率
事業の終了時期	未定	事業の終了時期が未定の場合、事業の抜本的な見直し時期	未定
事業の終了時期が未定の場合の理由	国際理解教育の推進を図るための事業であるが、海外でなく他の実情に合った方針が構築されるまで未定である。		

評 価

●個別評価【CHECK】 ◎:適正 ○:概ね適正 △:適正ではない -:いずれにも該当しない

評 価	評 価 項 目		評 価	評 価 項 目		評 価
	妥 当 性	市が関与することが適切か(委託・民営化は不可能)		○	効 率 性	単位コストは、前年を下回っているか
国・県・市・民間との役割は適切か			○	事業実績や目的に対して費用がかかりすぎているか		○
変化する社会情勢の中で、事業の意義は失われていないか			△	委託等、手段を変更してもコスト削減は期待できないか		○
事業に対する市民ニーズを把握しているか			○	事務の手段を工夫しても業務時間は短縮できないか		○
有 効 性	事業の目的は達成できているか		○	公 平 性	受益者に偏りはないか	△
	事務を継続することで、成果の向上が期待できるか		△		受益者負担を求めている、また、求めている状況は適切か	○
	事務成果が上位施策の目標達成に貢献しているか		△		受益者負担の割合は適切か	○
	他市町村と比べて上位に位置しているか		△		サービスの提供方法に公平性を欠いていないか	○
評価の総合的なコメント		日本人が海外へ行き国際理解を図るという初期目標は達成されている。現在は海外旅行も気軽に行けるようになったり、西尾市在住の外国人も多いため、他の方策を模索したい。				
事業の方向性	(評価)	3 今後は、内容を見直して事業を縮小する				
	(理由)	海外派遣等事業から、イングリッシュキャンプや国際理解キャンプ等事業に変更することで、実情に合った国際理解教育の推進を図りたい。				
民間委託又は市民協働拡大の方向性	海外派遣引率は名鉄観光に委託している。					
事業全体の課題	以前と比べて多くの家庭で子どもが海外へ気軽に行ける時代となり、初期目的は達成された。今後は、一部の生徒だけでなく、より多くの児童生徒が経験できるイングリッシュキャンプや国際理解キャンプといった新事業へと移行することが肝要である。					

●近隣の状況【CHECK】

同類事業の近隣市の実施状況	海外派遣事業については、継続の市が多い。取りやめた市（K市）もある。イングリッシュキャンプを市独自で行う自治体も出てきた。
---------------	---

●参考意見等【CHECK】

市民サービス向上に向けた意見等	より多くの児童、生徒に、国際理解を深める経験をさせたい。
-----------------	------------------------------

●改善案【ACTION】

今後の改善策	イングリッシュキャンプの実施
--------	----------------

●企画政策課の評価

企画政策課の意見	総合計画の施策（321）「教育内容の充実」では、小学校における英語活動がありますので、事業見直しに併せて小学生についても検討してください。
----------	---

西尾市事務事業評価シート

事務事業No.	78	事務事業名 (中事業名)		体育・文化発表会開催事業 ()					
予算科目	10	01	03	大事業	10	中事業	00	担当課名	学校教育課
総合計画施策コード	321		事務開始年度		昭和37年度		備考		
根拠法令等	-						作成月	令和元年7月	

事業の概要

●事業の内容【PLAN】

事業の目的 (どうするために)	小中学校の体育大会の開催や、市内の児童・生徒が、思考を凝らした美術作品やミュージカルを制作し、互いに鑑賞することで、豊かな情操を養う。
事業の対象 (誰(何)のために)	市内の児童生徒
事業の概要 (具体的に何を)	児童生徒を対象とし、美術作品展やミュージカルを隔年で西尾文化会館を拠点として開催している。市内の教員に事業運営を委託し、各学校の専門教員が中心となり、図画工作・美術の授業等で制作した作品展示(H30)や、ミュージカル(H29・31)を企画・演出し発表をすることにより、豊かな心や感性を育む。

●事業費の内訳【DO】

項目	平成29年度(決算)	平成30年度(決算)	令和元年度(予算)		
事業費①	9,391,738円	8,968,726円	9,568,000円		
事業にかかる人工	0.05人	0.05人	0.05人		
事業にかかる人件費②	355,231円	358,370円	361,711円		
総事業費③(①+②)	9,746,969円	9,327,096円	9,929,711円		
総財源業内費③の	使用料・手数料	0円	0円	0円	
	国からの支出金	0円	0円	0円	
	県からの支出金	0円	0円	0円	
	市費	9,746,969円	9,327,096円	9,929,711円	
	その他	0円	0円	0円	
H30 総事業費③の対前年度差額	-419,873円	H30 総事業費③の対前年度比率	-4.31%		
事業費の増減理由 (対前年度比10%超の場合記入)					
事業費の中の 主な支出項目 (H30決算額)	項目	概要		金額	
		文化事業委託料	消耗品、使用料、印刷製本費等		1,200,000円
		会場使用料、消耗品	文化発表会、各大会賞状、バス借上料		5,089,040円
		負担金等	部活動代表生徒派遣費、各体育連盟負担金		2,679,686円

●指標の設定【DO】

(事業の実施にあたり、どれだけの成果(成果指標)を得るために、どれだけの活動(活動指標)をするか。)

成果指標	○事業で得たい成果を示すもので、受益者(市民)の観点から捉えた具体的な効果や効用(アウトカム)事業の目的と						
	具体的な指標	参加児童・生徒数(ミュージカルと美術作品展隔年実施)					
	指標の推移	平成29年度	単位	平成30年度	単位	令和元年度	単位
	目標値	750	人	15,000	人	750	人
	実績値	750	人	15,000	人	*****	
活動指標	○事業全体の結果を示すもので、具体的な活動量や活動実績(アウトプット)						
	具体的な指標	従事する教員等の人数					
	指標の推移	平成29年度	単位	平成30年度	単位	令和元年度	単位
	目標値	50	人	1,000	人	50	人
	実績値④	50	人	1,000	人	*****	
活動一単位当たりのコスト(③÷④)		平成29年度		平成30年度		令和元年度	
		194,939円		9,327円		*****	

事業の委託状況	全て委託している	委託の内容	教育研究会に事業を委託
事業の終了時期	未定	事業の終了時期が未定の場合、事業の抜本的な見直し時期	未定
事業の終了時期が未定の場合の理由	見直しを検討中のため終了時期が確定していない。		

評 価

●個別評価【CHECK】 ◎:適正 ○:概ね適正 △:適正ではない -:いずれにも該当しない

評 価	評 価 項 目		評 価	評 価 項 目		評 価
	妥 当 性	市が関与することが適切か(委託・民営化は不可能)		△	効 率 性	単位コストは、前年を下回っているか
国・県・市・民間との役割は適切か			○	事業実績や目的に対して費用がかかりすぎているか		○
変化する社会情勢の中で、事業の意義は失われていないか			△	委託等、手段を変更してもコスト削減は期待できないか		○
事業に対する市民ニーズを把握しているか			△	事務の手段を工夫しても業務時間は短縮できないか		○
有 効 性	事業の目的は達成できているか		△	公 平 性	受益者に偏りはないか	○
	事務を継続することで、成果の向上が期待できるか		△		受益者負担を求めている、また、求めている状況は適切か	△
	事務成果が上位施策の目標達成に貢献しているか		△		受益者負担の割合は適切か	△
	他市町村と比べて上位に位置しているか		△		サービスの提供方法に公平性を欠いていないか	△
評価の総合的なコメント		美術展は旧西尾市中心街で開催しているため、校外の学校は運搬・準備・片付け等に時間がかかる。ミュージカルは一部の子どものみの参加と限定されていることなど問題点が多い。				
事業の方向性	(評価)	3 今後は、内容を見直して事業を縮小する				
	(理由)	美術展は、各中学校地区での開催が妥当である。ミュージカルは廃止し、楽曲や台本を各校で有効利用できるよう残す。				
民間委託又は市民協働拡大の方向性	西尾市教育委員会の主催行事なので、教育研究会に事業を委託しているという現状のままで進めていく。					
事業全体の課題	美術展は、合併により西尾市が広域となり、来場が難しい。また限られた駐車場で混雑が激しい。美術展、ミュージカルとも教職員の負担が大きい。					

●近隣の状況【CHECK】

同類事業の近隣市の実施状況	全市の小中学生の作品を一か所に集めている市は少ない。中学校区での開催は行われている。ミュージカル形式の音楽会はほぼない。合唱や吹奏楽をメインとした音楽会は多くの市が行っている。
---------------	--

●参考意見等【CHECK】

市民サービス向上に向けた意見等	なし
-----------------	----

●改善案【ACTION】

今後の改善策	事業の発展的廃止の方向で実施中。
--------	------------------

●企画政策課の評価

企画政策課の意見	この事業を行ったことによる子どもたちの変化などの効果がわかるような指標にしてください。
----------	---

西尾市事務事業評価シート

事務事業No.	79		事務事業名 (中事業名)	サタデープラン推進事業 ()					
予算科目	10	01	03	大事業	12	中事業	00	担当課名	学校教育課
総合計画施策コード	321			事務開始年度	14年度			備考	
根拠法令等	サタデープラン運営協議会設置要綱						作成月	令和元年7月	

事業の概要

●事業の内容【PLAN】

事業の目的 (どうするために)	完全学校週5日制の下、地域で子どもを育てる環境の充実とスポーツ活動、文化・芸能活動、ボランティア活動等を通して、児童生徒の健全育成を図るため。
事業の対象 (誰(何)のために)	地域で子供を育てる環境を充実させることと西尾市の子供たちのため。
事業の概要 (具体的に何を)	平成14年度からの完全学校週5日制の実施など、子どもを中心とする地域の教育的課題に対応し、地域で子どもを育てる環境を充実させるため、地域の教育力の活性化に向けた推進体制を整備するとともに、土日を利用して子どもたちに対し、スポーツ活動、文化・芸能活動、ボランティア活動等を通じた健全育成を行っている。

●事業費の内訳【DO】

項目	平成29年度(決算)	平成30年度(決算)	令和元年度(予算)	
事業費①	3,590,080円	3,410,557円	3,568,000円	
事業にかかる人工	0.05人	0.05人	0.05人	
事業にかかる人件費②	355,231円	358,370円	361,711円	
総事業費③(①+②)	3,945,311円	3,768,927円	3,929,711円	
総事業費の内訳③の	使用料・手数料	0円	0円	0円
	国からの支出金	0円	0円	0円
	県からの支出金	0円	0円	0円
	市費	3,745,311円	3,568,927円	3,729,711円
	その他	200,000円	200,000円	200,000円
H30 総事業費③の対前年度差額	-176,384円	H30 総事業費③の対前年度比率	-4.47%	
事業費の増減理由 (対前年度比10%超の場合記入)				
事業費の中の 主な支出項目 (H30決算額)	項目	概要	金額	
	教室配分費	サタデープラン77教室	2,102,000円	
	情報誌発行、文化芸能 発表	年2回の情報誌発行、文化芸能発表会等	1,008,557円	
	保険料	児童生徒指導者保険料	300,000円	

●指標の設定【DO】

(事業の実施にあたり、どれだけの成果(成果指標)を得るために、どれだけの活動(活動指標)をするか。)

成果指標	○事業で得たい成果を示すもので、受益者(市民)の観点から捉えた具体的な効果や効用(アウトカム)事業の目的と						
	具体的な指標	サタデープラン参加児童生徒数					
	指標の推移	平成29年度	単位	平成30年度	単位	令和元年度	単位
	目標値	2,152	人	2,379	人	2,308	人
	実績値	2,152	人	2,379	人	*****	
活動指標	○事業全体の結果を示すもので、具体的な活動量や活動実績(アウトプット)						
	具体的な指標	サタデープラン開設教室数					
	指標の推移	平成29年度	単位	平成30年度	単位	令和元年度	単位
	目標値	77	教室	80	教室	76	教室
	実績値④	75	教室	77	教室	*****	
活動一単位当たりの コスト(③÷④)		平成29年度		平成30年度		令和元年度	
		52,604円		48,947円		*****	

事業の委託状況	全て委託している	委託の内容	講座の開設及び指導
事業の終了時期	未定	事業の終了時期が未定の場合、事業の抜本的な見直し時期	未定
事業の終了時期が未定の場合の理由	各教室は子どもを中心とする地域の教育的課題に対応し、地域で子どもを育てる環境を充実させるために必要であり事業終了は未定である。		

評 価

●個別評価【CHECK】 ◎:適正 ○:概ね適正 △:適正ではない -:いずれにも該当しない

評価項目	評価項目		評価	評価項目		評価
	妥当性	有効性		効率性	公平性	
妥当性	市が関与することが適切か(委託・民営化は不可能)		○	効率性	単位コストは、前年を下回っているか	△
	国・県・市・民間との役割は適切か		○		事業実績や目的に対して費用がかかりすぎているか	△
	変化する社会情勢の中で、事業の意義は失われていないか		○		委託等、手段を変更してもコスト削減は期待できないか	△
	事業に対する市民ニーズを把握しているか		○		事務の手段を工夫しても業務時間は短縮できないか	△
有効性	事業の目的は達成できているか		◎	公平性	受益者に偏りはないか	○
	事務を継続することで、成果の向上が期待できるか		○		受益者負担を求めている、また、求めている状況は適切か	○
	事務成果が上位施策の目標達成に貢献しているか		○		受益者負担の割合は適切か	○
	他市町村と比べて上位に位置しているか		○		サービスの提供方法に公平性を欠いていないか	○
評価の総合的なコメント	西尾市独自の事業であり、2,300人を超える児童生徒と、77講座（H30年度）が開設されている。子供たちの健全育成が見込まれている。					
事業の方向性	(評価)	2 今後は、内容を見直して事業を拡大する				
	(理由)	地域で子供たちを育てるため。				
民間委託又は市民協働拡大の方向性	生涯学習課、スポーツ課が主管となっている各種の講座と統合して一本化してもよいのではないかな。					
事業全体の課題	新たな教室の開設に向け、地域の先生方を新たに集める方法や新しいジャンルの先生方を見つけること。					

●近隣の状況【CHECK】

同類事業の近隣市の実施状況	近隣の市町で、同類事業を行っている情報は入っていない。
---------------	-----------------------------

●参考意見等【CHECK】

市民サービス向上に向けた意見等	なし
-----------------	----

●改善案【ACTION】

今後の改善策	-
--------	---

●企画政策課の評価

企画政策課の意見	生涯学習課やスポーツ課等と連携して、地域の特性やさまざまな人材等の教育的資源を取り入れた「特色のあるサタデープラン」にしてください。また、効果が見えるような指標の設定について検討してください。
----------	--